

2022年6月15日

各 位

東びわこ農業協同組合



## SDG s 債券への投資に関するお知らせ

東びわこ農業協同組合（代表理事理事長 宮尾 和孝、以下「当組合」）は、持続可能な社会の実現につながることを期待して、「第4回 ENEOS ホールディングス株式会社社債トランジション・リンク・ボンド（以下「本債券」）に投資したことをお知らせいたします。

「トランジション・リンク・ボンド」とは、脱炭素社会実現に向けて長期的な戦略を策定した、企業が、その戦略に沿った目標設定を行い、達成状況に応じて条件が変動する社債です。今回 ENEOS ホールディングス株式会社が発行するトランジション・リンク・ボンドは、トランジション・ファイナンスに関する各種基準およびガイドライン等に適合した目標設定型・資金使途不特定の公募債として、国内初となるものです。

当組合は、幅広い事業分野において環境に配慮した取り組みを実践しており、本債券のトランジション・リンク・ボンドはじめ SDG s 債券への投資を通じ、収益性の確保にのみならず、環境施策への貢献も果たしてまいります。

### 記

#### 【本債券の概要】

銘柄	第4回 ENEOS ホールディングス社債トランジション・リンク・ボンド
発行日	2022年6月15日
発行年限	10年
発行額	850億円

※本債券の発行に際し、各種基準及びガイドライン等への適合性を満たすためにトランジション・リンク・ボンド・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワーク詳細は、ENEOS ホールディングスのホームページ掲載されている開示資料をご覧ください。

([http://www/hd.eneos.co.jp/crs/sustainablefinance/pdf/tlb0405\\_fw.pdf](http://www/hd.eneos.co.jp/crs/sustainablefinance/pdf/tlb0405_fw.pdf))

※持続可能な開発目標（SDG s）とは、2015年9月の国債国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

以 上